

Junior High School

中学 3

# 年間学習計画

2020 Syllabus



吉祥女子中学・高等学校

# 年間学習計画

2020 Syllabus

	「年間学習計画(シラバス)」の内容と使い方	1
	教育課程と時程	2
	国語	3
	社会	9
	数学	15
	理科	23
	英語	29
	保健体育	41
	音楽	45
	美術	49
	技術・家庭	53

[参考]

〈2020(令和2)年度入学生高等学校教育課程〉

# 「年間学習計画(シラバス)」の内容と使い方

「年間学習計画(シラバス)」には各教科の教育課程のほか「学習の目標」「学習の内容」「学習の進め方」「学習計画」が記されていて、中学1学年から高校1学年までの各学年ごとに配布されます。高校1年生の2学期には、高校2年生からの進路選択〈文系・理系・芸術系〉に関するガイダンスがあり、各教科の内容、単位数、必修選択授業などの説明があります。その説明をふまえて、それぞれが自分の希望する系に進むことになります。また、高校2年生の2学期には高校3年からの各教科の内容、単位数、自由選択授業などの説明があり、それぞれの進路達成に向け、科目選択を行います。また、文系は国公立文系・私立文系の選択も行います。

## ◎本冊子により

- ・1年間、どのようなことを学習しようとしているのか。
- ・今、学んでいることが上級学年にどのようにつながっているのか。
- ・授業がどのように行われるのか。
- ・自宅学習はどのようにすればよいのか。

などがわかります。それらについては、担当の先生から随時説明がありますので、本冊子を有効に活用してください。また、「学習計画」を見ると次の定期考査までの授業の進度がわかります。自分が勉強している項目を随時チェックして、定期考査への計画的な勉強に役立ててください。

なお、「学習計画」については、授業の進み具合や授業時数により、実際の進度とは異なり、定期考査の範囲も変更になる場合があります。

## ◆ 2020年度 定期考査の日程

学期	考査名	期 間	考査名	期 間
1学期	第1回定期考査	5月22日～5月25日	第2回定期考査	7月4日～7月8日
2学期	第3回定期考査	10月20日～10月22日	第4回定期考査	12月9日～12月12日
3学期	第5回定期考査	3月5日～3月9日		

## ◇教育課程と時程◇

### 〈教育課程〉

教 科	学年 科目	授 業 時 数 (週)			
		1 年	2 年	3 年	合 計
国 語	現 代 文	3	3	2	16
	古 典	2	3	3	
社 会	地 理	2	2	3	11
	歴 史 現 代 社 会	2	2		
数 学	代 数	3	3	3 3	16
	幾 何	2	2		
	数 学 I 数 学 A				
理 科	1 分 野	]3	2	3	12
	2 分 野 生 物 基 礎		2	2	
保 健 体 育		3	3	3	9
音 楽		2	1	1	4
美 術		2	1	1	4
英 語	英 語	5	5	5	19
	英 会 話	1	1	2	
技 術 ・ 家 庭		2	2	1	5
道 徳		1	1	1	3
総 合 的 な 学 習 の 時 間		2	2	2	6
特 別 活 動		1	1	1	3
合 計		36	36	36	108

\*教育課程は変更することがあります。

\*「総合的な学習の時間」は年間を通して週2時間相当の時数分を行います。

\*中3の英語は Reading (3単位)と Grammar (2単位)に分けて行います。

### 〈時 程〉

	平 常	短 縮	定期考査
予 鈴	8 : 25	8 : 25	な し
朝 礼	8 : 30～	8 : 30～	9 : 15～
1 時 限	8 : 40～9 : 30	8 : 40～9 : 20	9 : 30～10 : 20
2 時 限	9 : 40～10 : 30	9 : 30～10 : 10	10 : 35～11 : 25
3 時 限	10 : 40～11 : 30	10 : 20～11 : 00	11 : 40～12 : 30
4 時 限	11 : 40～12 : 30	11 : 10～11 : 50	1 : 00～1 : 50
昼 休 み	12 : 30～1 : 20	11 : 50～12 : 30	
予 鈴	1 : 15	12 : 25	
5 時 限	1 : 20～2 : 10	12 : 30～1 : 10	
6 時 限	2 : 20～3 : 10	1 : 20～2 : 00	

国語

社会

数学

理科

英語

保健体育

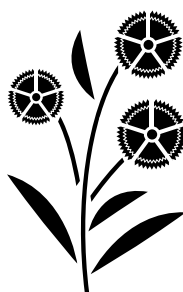
音楽

美術

技術・家庭

# 国語

## Syllabus 年間学習計画



## 1. 学習の目標

- ・さまざまな種類の文章を読み、その内容や要旨を的確に理解したり、鑑賞したりする能力を高める。
- ・社会の諸問題に関心を抱き、適切な手段・ツールで情報収集する能力を高める。
- ・自己の考えを論理的に書き表す能力と目的や場面に応じて的確に話す能力を高める。
- ・俳文および俳句を鑑賞し、文学史上の流れと意義を理解するとともに、俳句を創作する。
- ・漢字の学習を通し、正しい日本語の用法と多くの語彙を習得する。
- ・古文の随筆や説話を多読し、より緻密な古文の読解力を養うとともに、古文の読解に必要な助動詞の用法を学ぶ。
- ・漢文訓読の練習を反復しながら、より多くの基本句形を学ぶ。
- ・故事成語や漢詩などを読み、中国の先人の生き方・考え方を考察する。
- ・読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げ、自己を向上させようとする態度を養う。

## 2. 6力年の学習の内容

人間は「言葉」で考え生きるものであり、国語力は全教科の根幹となります。中1から高1までの4年間に、教科書のみならずさまざまな作品に触れることによって、より深い読解力、思考力、表現力を身につけることを目標としています。「現代文」については、適宜高校生向けのテキストを副教材として使い、難度の高い優れた文章を読むことで、読解力や思考力を更に伸ばせるようにしています。また、一方的に教わるだけでなく自ら探究する姿勢を身につけるために、図書館での資料収集やグループ学習の機会を設け、読書も奨励しています。「古典」の分野については、中1から百人一首をはじめ「古文」「漢文」を積極的に取り入れ、音読を重視しながら現代の国語につながる日本文化の礎を自然に感じることができるよう配慮しています。高1では、高2以降いずれの方面に進むにしても必要な内容を総合的に学びます。高2からは各自の進路に応じた授業を展開し、高3では問題演習を多く取り入れ大学入試に対応できる力を養います。また、新聞記事や各種評論文にも目を向けて幅広く知識を蓄え、小論文にも対応できる力を身につけられるよう工夫をしています。

## 3. 学習の進め方

予習を前提として授業を進めます。「現代文」では、扱う文章をあらかじめ読み、意味調べをし、新出の漢字をノートに書き出します。論理性・抽象性の高い文章では、生徒それぞれが問題点を指摘し、それについてクラス全体で考える授業も展開されます。また、年間20回以上漢字テストを行い、語句の意味を調べて、正しく的確に使用できるようにします。

古文は、原文をノートに書き写し、古語辞典を使って古語の意味を調べ、口語訳をほどこします。漢文は原文をノートに書き写し、書き下し文にします。漢和辞典を使って口語訳をほどこします。問題集を使用し、問題演習をします。音読も継続して行っています。

## 4. 学習計画（1）

教 科	国 語	科 目	現代文	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『中学校 国語3』学校図書 『東京都版 国語活用資料集』新学社 『漢検5級～2級 常用漢字の級別学習コンプリート 新装版』京都書房 『吉祥読本』吉祥女子中学・高等学校 『現代を読む はじめての評論文20選 改訂版』明治書院					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	「握手」 「少年-海」	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言葉や動作から、人柄や心情をとらえる。</li> <li>登場人物の描かれ方から、語り手の視点を読み取る。</li> </ul>
5 月	「顔の見える国際協力」 【第1回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際協力のあり方について考える。</li> <li>筆者の論理をとらえる。</li> </ul>
6 月	「だれが自分を創るのか」 （『はじめての評論文』より） 「俳句十五句」	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠の提示方法に着目して、論理的文章の読み方を学ぶ。</li> <li>俳句の鑑賞を学ぶ。</li> </ul>
7 月	「黒い雨」	<ul style="list-style-type: none"> <li>心情描写に注意しながら、文学的文章の読み方を学ぶ。</li> <li>視点人物を通して書かれている場面を読み取り、語り手の設定の仕方を考える。</li> </ul>
1 学期 予定時数	【第2回定期考査】	

2学期 9・10月	「故郷」 「武蔵野の風景」 【第3回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の設定を通して、物語の構造を理解する。</li> </ul>
11月	「自分を差し出す」 (『はじめての評論文』より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章表現に注意して、筆者の論旨を的確に読み取る。</li> </ul>
12月 2学期 予定時数 _____	「「美しさの発見」について」 (『はじめての評論文』より) 【第4回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な表現方法を学ぶ。</li> <li>・論理の構成を把握し、筆者の考えを読み取る。</li> </ul>
3学期 1月	「「聖なるもの」の行方」 (『はじめての評論文』より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な表現方法を学ぶ。</li> <li>・論理の構成を把握し、筆者の考えを読み取る。</li> </ul>
2・3月 3学期 予定時数 _____	「高瀬舟」(プリント) 「都市の中で自然と住む」 (『はじめての評論文』より) 【第5回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の設定を通して、物語の構造を理解する。</li> <li>・論理の構成を把握し、筆者の考えを読み取る。</li> </ul>

※年間約20回漢字テストを行い、語句の意味を調べて正しく的確に漢字を使用できるようにする。



## 4. 学習計画（2）

教科	国語	科目	古典	週あたりの授業時数	3時間	担当
使用教材	『中学校 国語3』学校図書 『東京都版 国語活用資料集』新学社 『基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版』桐原書店 『基礎から解釈へ 新しい古典文法 演習ノート 四訂新版』桐原書店 『六訂版 古典文法ノート 読解演習編』数研出版 『基礎から解釈へ 漢文必携 四訂版』桐原書店 『ニューエイジ漢文 基礎1 新版二訂』第一学習社					

時期	単元	単元の内容
1学期 4・5月	『十訓抄』 「大江山」 『徒然草』 「悲田院の堯蓮上人は」 助動詞（過去・受身・完了・打消）	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文の基本的な読解力を身につける。</li> <li>基本的な古文単語を身につける。</li> <li>古文の読解に必要な助動詞の用法を学ぶ。</li> </ul>
	漢和辞典の使い方 【第1回定期考査】 「漢詩」	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓読法を学びながら、古代中国人の考え方を学ぶ。</li> </ul>
6・7月	俳句の鑑賞 『おくのほそ道』 助動詞（使役・推量）	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文の基本的な読解力を身につける。</li> <li>基本的な古文単語を身につける。</li> <li>古文の読解に必要な助動詞の用法を学ぶ。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>俳諧の成立を知り、俳諧・俳句の鑑賞の着眼点を学ぶ。</li> </ul>
1学期 予定時数 ——	「株を守る」 使役形 【第2回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> <li>句形や訓読法を学びながら、漢文の基本的な読解力を身につける。</li> </ul>

<p>2学期 9・10月</p>	<p>『徒然草』 「九月二十日のころ」 助動詞（推量・推定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文の基本的な読解力を身につける。</li> <li>・古文の読解に必要な単語を身につけ、助動詞の用法を学ぶ。</li> </ul>
<p>11・12月</p> <p>2学期 予定時数 _____</p>	<p>「知音」 「桃李言はざれども」 「百聞は一見に如かず」 否定形・仮定形・比較形 【第3回定期考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・句形や訓読法を学びながら、漢文の基本的な読解力を身につける。</li> </ul>
<p>3学期 1・2月</p> <p>3月</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>	<p>『枕草子』 「ふと心劣りとかするものは」 助動詞（打消推量・断定・願望・比況） 『土佐日記』 「門出」 【第4回定期考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文の基本的な読解力を身につける。</li> <li>・古文の読解に必要な単語を身につけ、助動詞の用法を学ぶ。</li> </ul>
	<p>『枕草子』 「中納言参りたまひて」 和歌</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文の基本的な読解力を身につける。</li> <li>・古文の読解に必要な単語を身につけ、敬語の用法を学ぶ。</li> <li>・3年間のまとめとして和歌を学ぶ。</li> </ul>
	<p>「鶏口牛後」 「鶏を割くに焉くんぞ牛刀を用ゐん」 選択形・限定形 【第5回定期考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・句形や訓読法を学びながら、漢文の基本的な読解力を身につける。</li> </ul>

# 社 会

## Syllabus 年間学習計画



---

国 語

社 会

数 学

---

理 科

英 語

---

保健体育

音 楽

---

美 術

---

技術・家庭

---

## 1. 学習の目標

公民分野、とりわけ現代社会における諸問題を具体的に取り上げて現象面での理解を深め、人権思想や政治制度、日本国憲法など、理論・制度面での政治分野の学習につなげていきます。その際に最も重要なのが「自分は社会を作る主体である」という当事者意識を持つ事です。自分は今どのような社会に生きているのか、この社会はどのような問題に直面しているのかを正しく知り、その上で自分はその問題にどう対処すべきなのかを主体的に考え、表現する力を身につけることを目指します。

## 2. 6カ年学習の内容

社会的な問題意識や理解、歴史的な思考力、資料の分析能力、ディベート・ディスカッションなどによる自己表現力、新聞・レポートの作成力など、単なる暗記ではなく、多岐にわたり生徒の能力を高めることを目標としています。中1・中2では「地理」と「歴史」を並行して学習しますが、基礎的レベルにとどまらず、発展的教材（地理）や独自プリント（歴史）などを用いて、高校の内容にまで踏み込んだ本格的な学習を進めていきます。また、中3では、高校「現代社会」の副教材を併用し、現代社会の課題、女性としての生き方、民主政治と人権思想などの分野を学習します。さらに高1で、中3の学習を引き継ぐ形で「政治・経済」を学習することで、中3から高1の2年をかけて重複なく総合的にこの分野の学習を完成させていきます。高2では「倫理」を学び、自らの生き方に対する内省力の育成を目指します。また、高1で「世界史」を全員学習した後、高2では「日本史」・「世界史」・「地理」を進路希望に応じて学習し、総合的な社会観の育成を目指します。高3では進路選択に応じて、大学入試レベルにも十分に対応した高度な水準の授業を展開します。

## 3. 学習の進め方

### ① 授業

資料集を補助教材として、プリントや板書を中心に授業を展開します。授業の基本は「よく聞き」、「よく読み」、「よく考える」ことですが、授業では受動的な姿勢ではなく、担当者からの問いかけに対して自分の意見を表明する能動的な姿勢も要求されます。さらに、生徒各人が最低1回、新聞から興味を抱いた記事を取り上げ、要約と感想をまとめて授業のはじめに発表するとともに、年間を通じた新聞ノートの作成、夏休みのレポートの作成、各学期に1回行われるディベートへの参加などを通して、座学だけでなく、現代社会の諸問題への理解を深める活動を積極的に進めていきます。

## ② 自宅学習

授業ノートや資料集を利用して、毎回の授業の内容をその日のうちに復習することは言うまでもなく、毎日ニュースを見る、新聞を読むことを日々の課題とします。情報化が進んだ今日、インターネットを開けばたくさんの情報を入手することができます。批判的に情報を取捨選択できる能力を身につけることも、現代社会の諸問題を正しく理解する上で極めて重要です。

## 4. 学習計画

教 科	社 会	科 目	現代社会	週あたりの授業時数	3 時間	担当
使用教材	『中学生の公民』 帝国書院 『ライブ現代社会』 帝国書院					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	序：「現代社会」の背景 ～戦後から現在への変化～	現代社会の諸問題の学習に入る前に、導入として敗戦から現在にいたるまでの日本社会の変遷について概観する。とりわけ、高度経済成長とともにもたらされたさまざまな現象や問題（産業構造の転換と食料自給率の低下、大量生産・大量消費・大量廃棄社会の登場とごみ問題・環境問題、都市への人口流入と核家族化・少子高齢化、ライフスタイルの変化と女性の社会進出など）について取り上げる。
	I. 現代社会分野 1. 現代社会とごみ問題	ごみ問題を手がかりに、ダイオキシン問題や不法投棄問題などの現状に目を向けるとともに、リサイクルと循環型社会のあるべき姿について考える。
5 月	2. 地球環境問題	地球温暖化やオゾン層の破壊などの問題と世界での取り組みを取り上げ、環境問題の解決のために日本ができること、および個人ができることを考える。
	3. 資源・エネルギー問題  【第 1 回定期考査】	資源ナショナリズムと南北問題、石油危機など資源・エネルギーをめぐる諸問題を振り返りながら、資源小国である日本が今後取るべき針路を考える。原子力の安全性の問題や、環境問題とも関連する自然エネルギー（再生可能エネルギー）の利用、省エネルギーおよびエネルギーの効率利用の可能性についても考察する。

6月	4. 科学技術の発達と生命	クローン技術とヒトゲノム、代理出産と再生医療、臓器移植と安楽死・尊厳死、終末期医療を取り上げながら、生命倫理の問題について考察する。
7月	5. 少子高齢化問題	戦後の家族制度の変化とそれにもなう核家族化と少子高齢化の問題について、女性の地位向上および社会進出と関連させつつ考察する。日本における法令・政策面での対策についても学習する。
1学期 予定時数	【第2回定期考査】	
2学期 9月	6. 日本の社会保障制度	日本の年金制度、医療保険制度、介護保険制度などの社会保障制度を取り上げ、その考え方を学ぶ。
10月	7. 女性としての生き方	「女性らしさ」や「女性の役割」について考察し、自分の中にある固定観念に気付くとともに、国内外の女性の地位向上について理解を深める。
11月	II. 政治分野 1. 政治とは何か	共同生活を営む人間集団の秩序の維持を図るための「政治」と「権力」の意味とその正当性の根拠を学ぶ。また主たる政治の舞台である国家のあり方と秩序維持のための「法」について、その思想を振り返りながら考察する。
12月	2. 民主政治と人権思想	民主政治の基本原則を学んだ後、人間が生まれながらに持っている自然権（基本的人権）がいかに関獲得されてきたかについて、社会契約説と人権宣言、市民革命の歴史を振り返りながら考察する。
2学期 予定時数	【第4回定期考査】	

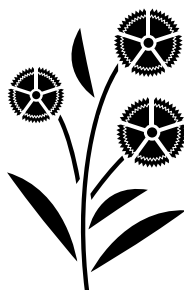
<p>3学期 1月</p>	<p>3. 日本国憲法の成立</p>	<p>大日本帝国憲法の特徴・内容と比較しつつ、日本国憲法が制定された背景と経緯について、アメリカの対日占領政策と関連づけて学習する。</p>
<p>2月</p>	<p>4. 国民主権と天皇</p>	<p>日本国憲法の三大原則の一つである国民主権について、天皇の地位の変化と関連させながら考察する。</p>
<p>3月</p> <p>3学期 予定時数</p>	<p>5. 基本的人権の保障</p> <p>【第5回定期考査】</p>	<p>基本的人権の本質について確認した後、日本国憲法で保障されている人権（平等権・自由権・社会権など）について学習する。その際、関連する判例を取り上げ、人権保障の現状について考察する。</p> <p>差別問題（部落差別、人種差別、女性差別など）や死刑制度の問題、生存権の意義についても学習し、理解を深める。</p>



# 数 学

## Syllabus

### 年間学習計画



---

国 語

---

社 会

---

**数 学**

---

理 科

---

英 語

---

保健体育

---

音 楽

---

美 術

---

技術・家庭

---

## 1. 学習の目標

### 〈学んだ考え方を応用する姿勢を身につけよう！〉

昨年度までに中学で学ぶ数学を学び終えたみなさんは、今年度から、高校の内容を深く学んでいくこととなります。これにあわせて、今年度から授業の科目名が高校の内容にあわせて「数学Ⅰ」「数学A」となります。もちろん新しい内容を学ぶこととなりますが、その多くが、これまでに学んだ考え方を発展させたものであるということは、すぐに実感できるでしょう。

これまでに「代数」と「幾何」の授業で学んだ知識は、それぞれが「代数」の分野だけ、「幾何」の分野だけで必要とされるものではありません。これからは「代数」の知識を「幾何」の分野で、「幾何」の知識を「代数」の分野で必要とすることがあります。さらに、解こうとする問題も、さまざまな考え方を複合させて取り組まなければ解けない問題が増えてきます。したがって、解答に至るまでの過程が複雑になり、結果として「難しい」と感じることもあるでしょう。しかし、そのような問題も順序を追って1つ1つ解きほぐしていくと、その考え方はこれまでに学んだものの応用であることが多いのです。

実は、数学の問題に取り組むときに、まったく新しい考え方を一から組み立てるということはあまりありません。そのほとんどが、これまでに学んだ考え方を応用して取り組みます。これこそが、「数学の考え方」であり、数学が「積み重ねの学問」といわれる理由です。

この1年は、高校数学の内容を通して、この「数学の考え方」、すなわち「これまでに学んだ考え方を応用しよう」という姿勢を身につけるのが目標です。どんなに高度な内容であっても、この姿勢で取り組むことが一番の基本であり、この姿勢を身につけておくことが高校に進級後も数学の学習を続ける上で、また「数学のエキスパート」になるためにも非常に大切です。

そして、これまでどおり「考えることの楽しさ」を存分に味わいましょう。これが、数学を学習する上での一番の目標です。

## 2. 学習の進め方

### 〈予習時の疑問を授業で解決し、その日のうちに復習をして定着させる〉

数学の学習において、最低限必要で最も大切なことは、教科書の内容を十分に理解することです。教科書の内容、特に基本事項の十分な理解なくして応用力は身につけません。そこで、先につながる学習のためにも、応用力を養うためにも、次の勉強方法を勧めます。

- ①次の授業で何を学ぶのか、事前に教科書を読んで確認しておきましょう。事前に内容を把握しているかどうかで、授業で得る知識の深さが全く違ってきます。

- ②授業に集中しましょう。そして、その中で理解できないこと、疑問に思ったことがあれば、必ずその日のうちに先生や友達に質問したりして、解決することです。
- ③その日に学習した内容を、教科書やノートで見直しましょう。このとき、特にまとめる必要はありません。まとめは、1つの単元が終わって全体が見えてきてから必要事項だけをまとめればよいです。
- ④問題集を利用して、その日に学習した内容が本当に理解できたかどうかを、答え合わせをしながらチェックしましょう。もし、答えや解き方について自分と違ったところがあれば、どうしてそのような答えになるのかを、教科書やノートを見て、自分なりに納得しましょう。
- ⑤次の日の内容を一通りのぞいておき、習ったはずなのに忘れていたことがあれば、調べておきましょう。

数学は積み重ねの学習です。以前に学習したことが定着していないと、次の授業は理解に苦しむことになります。自宅学習では、次の授業中に内容を理解できるように準備することが必要なのです。

### 〈問題集について〉

日々の授業の進度に合わせて、問題集に取り組み、学習したことを定着させましょう。

問題集ノートは「数学Ⅰ」「数学A」の授業にあわせて2冊用意し、それぞれの授業の範囲の問題をそれぞれのノートに解くようにしましょう。問題を解いたら答え合わせをして、間違えた問題はどこを間違えたのか確認をして、必ずやり直しておきましょう。

中学3年生になり、問題集ノートの取り組みにも自分なりの形が出来上がってきていることだと思いますが、高校の内容に深く入るにつれ、当然ながら問題も難しくなってきます。そこで、問題集の取り組みについて、少し見直してほしいと思います。

これまでは、証明の問題を除いて「答えが合っていればそれでよい」ということが多かったのですが、これからは「答えが出るまでの過程が数学的に正しいか」「答えを導く過程を論理的に説明できるか」ということまで求められるようになっていきます。そのため普段から、問題集の解答にあるような「数式と数式の間、言葉による説明をはさむ」練習をしていきましょう。問題を解くときに途中の式をかくことはいうまでもありませんが、その間に「なぜこう考えたのか」「これから何を考えるのか」ということを言葉ではさんでいくことで、自分の頭の中も整理され、理解が深まります。

また、問題集は一度解いたら終わりではなく、何回も解いて苦手な単元を残さないことが大切です。高校の内容は、当然一度だけで身につけるのは難しくなってきます。二度、三度と繰り返し取り組んでください。

### 3. 学習計画 (1)

教科	数 学	科 目	数学 I	週あたりの授業時数	3 時間	担当
使用教材	中学校数学3 (数研出版) 高等学校数学 I (数研出版) 高等学校数学 A (数研出版) 数学 II (数研出版) 4 S T E P 数学 I + A (数研出版) 4 S T E P 数学 II + B (数研出版) F o c u s G o l d 数学 I + A (啓林館) F o c u s G o l d 数学 II + B (啓林館)					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	<b>【図形と計量】</b> 三角比 1. 三角比の定義 2. 三角比の相互関係  3. 三角比の拡張	正弦、余弦、正接の意味を理解する 三角比の相互関係を利用することができるようにする 三角比の値を鈍角まで拡張して考えることができるようにする 三角方程式と三角不等式が解けるようにする
5 月	4. 三角方程式 5. 三角不等式 正弦定理と余弦定理 1. 正弦定理  2. 余弦定理	正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径が求められるようにする 余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められるようにする
6 月	<b>【第 1 回定期考査】</b>  3. 正弦定理・余弦定理の応用  図形の計量 1. 三角形の面積  2. 空間図形への応用	正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の解法や測量問題を考えることができるようにする  三角比を用いて三角形の面積を求められるようにする 三角比を空間図形へ応用する

<p>7月</p> <p>1学期 予定時数 _____</p>	<p><b>【論理と集合】</b></p> <p>1. 命題と条件</p> <p>2. 逆・裏・対偶</p> <p><b>【第2回定期考査】</b></p>	<p>命題の意味を理解し、その真偽を判定できるようにする</p> <p>必要条件・十分条件・必要十分条件・同値の意味を理解する</p> <p>命題の真偽とその逆・裏・対偶の相互関係を理解する</p>
<p>2学期 9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>2学期 予定時数 _____</p>	<p><b>【式と証明】</b></p> <p>1. 多項式の除法</p> <p>2. 分数式とその計算</p> <p>3. 恒等式</p> <p>4. 等式の証明・二項定理</p> <p>5. 不等式の証明</p> <p><b>【第3回定期考査】</b></p> <p><b>【複素数と方程式】</b></p> <p>1. 複素数</p> <p>2. 2次方程式の解と判別式</p> <p>3. 解と係数の関係</p> <p>4. 剰余の定理と因数定理</p> <p>5. 高次方程式</p> <p><b>【第4回定期考査】</b></p>	<p>多項式の除法の計算ができるようにする</p> <p>分数式の計算ができるようにする</p> <p>恒等式の意味を理解し、利用できるようにする</p> <p>等式の証明の仕方を学び、証明できるようにする</p> <p>不等式の証明の仕方を学び、証明できるようにする</p> <p>数の範囲を複素数まで拡張し、計算の方法を学ぶ</p> <p>2次方程式の解を複素数の範囲まで考え、解が判別できるようにする</p> <p>2次方程式の解と係数の関係を学び、利用できるようにする</p> <p>剰余の定理と因数定理を学び、利用できるようにする</p> <p>3次以上の方程式の解法を学び、解けるようにする</p>
<p>3学期 1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>	<p><b>【整数の性質】</b></p> <p>1. 約数と倍数</p> <p>2. ユークリッドの互除法</p> <p>3. 整数の性質の活用</p> <p><b>【第5回定期考査】</b></p>	<p>約数と倍数の性質を学び、整数を余りによって分類できるようにする</p> <p>ユークリッドの互除法を学び、1次不定方程式を解けるようにする</p> <p>n進法を理解し、利用できるようにする</p>

### 3. 学習計画 (2)

教科	数 学	科 目	数学A	週あたりの授業時数	3 時間	担当
使用教材	中学校数学3 (数研出版) 高等学校数学I (数研出版) 高等学校数学A (数研出版) 数学II (数研出版) 4STEP 数学I + A (数研出版) 4STEP 数学II + B (数研出版) Focus Gold 数学I + A (啓林館) Focus Gold 数学II + B (啓林館)					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	<b>【場合の数と確率】</b> 集合とその要素の個数 1. 集合 2. 集合の要素の個数	集合の意味とその表し方を理解する いろいろな集合の要素の個数を求められるようにする
5 月	場合の数 1. 場合の数 2. 順列と組合せ 3. 円順列 4. 重複順列 5. 組分け  <b>【第1回定期考査】</b>	樹形図を使って場合の数を求められるようにする 順列と組合せの意味を理解し、その総数を求められるようにする 円順列の総数を求められるようにする 重複順列の総数を求められるようにする 組分けの問題を理解し、その組合せの総数を求められるようにする
6 月	確率 1. 確率の基本性質 2. 独立試行の確率 3. 反復試行の確率 4. 条件付き確率	確率の意味を理解し、その基本性質を用いて簡単な確率を求められるようにする 独立試行の確率が求められるようにする 反復試行の確率が求められるようにする 条件付き確率が求められるようにする
7 月 1 学期 予定時数 _____	<b>【第2回定期考査】</b>	

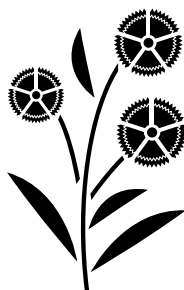
<p>2学期 9月</p>	<p><b>【資料の整理と活用】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>資料の整理</li> <li>代表値と散らばり</li> <li>近似値と誤差</li> </ol> <p><b>【確率と標本調査】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>標本調査</li> </ol> <p><b>【データの分析】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>データの整理</li> <li>データの代表値</li> </ol>	<p>度数分布表や相対度数などを用いて資料の特徴を調べる方法を学ぶ</p> <p>平均値、中央値、最頻値などを使って資料の散らばり具合を調べられるようにする</p> <p>近似値と誤差の意味と活用の仕方を学ぶ</p> <p>標本調査を用いて母集団の特徴を調べられるようにする</p>
<p>10月</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>データの散らばりと四分位数</li> <li>分散と標準偏差</li> <li>データの相関</li> </ol> <p><b>【図形と方程式】</b></p> <p>点と直線</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>内分・外分・中点</li> <li>2点間の距離</li> <li>直線の方程式の求め方</li> <li>2直線の関係</li> </ol> <p><b>【第3回定期考査】</b></p>	<p>度数分布表やヒストグラムを用いてデータを整理できるようにする</p> <p>データの特徴を平均値、最頻値、中央値などを用いて表せるようにする</p> <p>四分位数を用いてデータの散らばりの度合いを調べられるようにする</p> <p>分散と標準偏差を用いてデータの散らばりの度合いを調べられるようにする</p> <p>2つの変量からなるデータに相関があるかを調べられるようにする</p> <p>線分の内分点、外分点、中点の意味を理解し、その座標を求められるようにする</p> <p>座標平面上の2点間の距離を求められるようにする</p> <p>傾きと通る1点の座標から直線の方程式を求められるようにする</p> <p>2直線の平行と垂直について理解する</p>

<p>11月</p> <p>12月</p> <p>2学期 予定時数 _____</p>	<p>円</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 円の方程式の求め方</li> <li>2. 円と直線の共有点</li> <li>3. 円と直線の位置関係</li> <li>4. 円の接線の方程式</li> <li>5. 2つの円の交点を通る円</li> <li>6. 2つの円の共有点</li> </ol> <p style="text-align: center;">【第4回定期考査】</p>	<p>座標平面上の円の方程式を求められるようにする</p> <p>円と直線の共有点の座標を求められるようにする</p> <p>円と直線の位置関係について理解する</p> <p>円の接線の方程式が求められるようにする</p> <p>2円の交点を通る円の方程式が求められるようにする</p> <p>2点の共有点の座標が求められるようにする</p>
<p>3学期</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>	<p>軌跡と領域</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 軌跡と方程式</li> <li>2. 不等式の表す領域</li> </ol> <p style="text-align: center;">【第5回定期考査】</p>	<p>軌跡の考え方を学び、条件にしたがって動く点の軌跡の方程式が求められるようにする</p> <p>座標平面上の領域の表し方を学び、それを利用して最大最小などの問題が解けるようにする</p>



# 理 科

## Syllabus 年間学習計画



---

国 語

---

社 会

---

数 学

---

理 科

---

英 語

---

保健体育

---

音 楽

---

美 術

---

技術・家庭

---

## 1. 学習の目標

理科では、私たちの身の周りの自然の物事・現象がどのようになっているのか、どのような法則に基づいているのかについて知ることが目標です。自然現象についての理解を深めるためには、まず身の周りの自然の物事・現象に興味を持ち、意欲的にそれらに接する必要があります。そのため、教科書に書いてあることをただ読んだり覚えたりするだけではなく、実験や観察などの「実体験」を大切にしましょう。目的意識を持って実験や観察を行うことで、身の回りの自然現象を実証的にまた論理的に考える力が身につき、また客観性のある、科学的な分析をする力が養われます。そのため前提として、観察・実験の基本操作と習得はもちろんのこと、それらの過程や結果のまとめ方、結論の導き方や表現の仕方も学習します。さらに、基本的な概念や原理・法則の理解、基本的な知識の定着も図ります。

## 2. 6力年の学習の内容

身近な自然現象に興味を持ち、知識・観察力を活用して、ものごとを科学的に思考できる人間の育成を目指しています。そのため中学から実験・実習を数多く取り入れ、「実体験」から得る情報をもとに思考を発展させ、「得られた結果から科学的に優れた考察を展開できる能力」が身につくよう指導しています。また、実験にはレポートの作成を課し、大学入試の論述問題対策にもなっています。さらに、進歩の著しい自然科学の分野で重要かつ基礎的な知識を、より効率的に深く学習するため、中学・高校の内容を整理・統合し、中学では必要に応じて高校の内容を取り入れ、中3では「物理基礎」「化学基礎」と「生物基礎」を扱います。高1までに理科の基本を一通り学習した後、高2以降の進路目標別クラスでの発展した学習につなげていきます。また、理系クラスでは、より専門的な実験を多く行います。高3では各自の進路に応じて、大学入試問題を解く力に加え自然科学を探究する姿勢を養っていきます。

### 〈中3〉

#### 〔1分野〕

物理分野では「力のつりあい（2次元）」「力と運動の変化」「運動の法則と運動方程式」、化学分野では「物質の分類」「化学変化とイオン」「酸とアルカリ」「化学結合」を中学理科1分野だけでなく高校の「物理基礎」「化学基礎」の教科書を取り入れながら専門的な内容を学習します。

〔生物基礎〕

高校の「生物基礎」の教科書を主に使って学習します。細胞の分野では細胞の共通性や多様性の観点から、また、エネルギー代謝の意味についても、実験・観察を取り入れながら学習します。遺伝については、遺伝子の本体であるDNAやタンパク質合成のしくみを学ぶほか、メンデル遺伝を演習を取り入れながら学習します。

### 3. 学習の進め方

身近な物質や現象に興味を持って授業に参加してください。興味を持つことで「何故だろう」、「どうしてなんだろう」というような疑問を持ちながら授業を受けることができ、考え方も含めて理解しながら基本的な知識を覚えることができます。また、黒板に書いてないような説明なども大切なことはノートに書き取りましょう。

〈中3〉

〔1分野〕

実験・実習に積極的に取り組みましょう。授業は週3時間に増え、だいたい1週間から2週間に1回のペースで実験を行います。多くの実験・実習での「実体験」から得る情報をもとに思考を発展させ、「得られた結果から科学的に優れた考察を展開できる能力」が身につくように、実験レポートの作成に力を注ぎましょう。

物理分野では高校レベルの内容も含むようになります。中2と比べると更に計算力も必要になってきます。演習ノートの作成がより大切になってきます。また、化学分野でも高校レベルの内容になってくるので、元素記号、化学式、化学反応式の作り方など基本的な知識は定着させておく必要があるでしょう。

〔生物基礎〕

実験・実習の方法や内容も複雑になります。実験前の説明で実験内容をよく理解し、家庭でも実験プリントを十分に予習したうえで、実験操作を安全に行いましょう。また、限られた実験時間の中で手際よく実験を進める工夫も必要となります。実験レポートも中2までと比べて、より深く考えて考察をまとめる練習をしていきます。

学習の内容がより高度になりますから問題集の問題を解いて、内容理解に努めることが一層大切になります。また、ニュースや新聞などの話題や保健体育や公民など他教科で学ぶことに興味を持ち、関連を見出すことも生物の内容理解を深めるためには欠かせません。分野の枠を超えて、さまざまなことに興味を持って生活してください。

## 4. 学習計画 (1)

教科	理科	科目	1分野	週あたりの授業時数	3時間	担当
使用教材	『新しい科学3』東京書籍 高校教科書『物理基礎』数研出版 『化学基礎』実教出版 中3理科1分野独自作成テキスト(化学編、物理編) 『グラフィック理科資料集』新学社					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月 5月 6月 1学期 予定時数 _____	電流と電子 物質の分類 原子の構造と電子配置  【第1回定期考査】  原子・分子・イオン イオン結合と組成式 水溶液とイオン 酸とアルカリ 共有結合と電子式・構造式  【第2回定期考査】	電流が流れるメカニズムについて学ぶ。また、原子の構造からイオンのメカニズムを学び、イオン結合についても学習する。また、酸、アルカリについても学習し、イオン結合・共有結合等の原子・イオンの間に生じる結合や引力のメカニズムを学ぶ 【実験項目】 [実験] 交流と発光ダイオード [演示] 陰極線 [実験] 混合物の分離 [実験] 成分元素の検出 [実験] 電気分解 [実験] 酸・アルカリ
2学期 9月 10月 11月 12月 2学期 予定時数 _____	力のつりあい 力の合成・分解 2次元での力のつりあい 【第3回定期考査】  移動距離と変位 速度・加速度 等速直線運動 等加速度直線運動  【第4回定期考査】	力を2次元的に考え、合成や分解の方法を学ぶと同時に、力のつりあいの式を立式し、力学の諸問題を解く方法を学習する。  【実験項目】 [実験] 等速直線運動
3学期 1月 2・3月 3学期 予定時数 _____	等加速度直線運動の公式 自由落下運動・投げ上げ・ 投げ下げ運動 運動の法則 運動方程式 運動摩擦力を考慮した運動  【第5回定期考査】	物体のいろいろな運動について学び、運動の法則を理解する。また、運動方程式を立式できるようにし、力学の諸問題を解けるようにする。 【実験項目】 [実験] 等加速度直線運動 [実験] 自由落下運動 [実験] 運動の法則

## 4. 学習計画 (2)

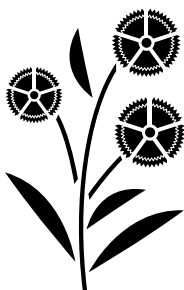
教科	理科	科目	生物基礎	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『新しい科学3』東京書籍 高校教科書『生物基礎』東京書籍 『ニューステージ新生物図表』浜島書店 『リード α生物基礎』数研出版					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月 5月 6・7月 1学期 予定時数 _____	第1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生命活動とエネルギー <b>【第1回定期考査】</b>  第2編 遺伝子とのはたらき 1章 生物と遺伝子  <b>【第2回定期考査】</b>	細胞の構造とはたらきについて学ぶ。 また、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 [実験] ミクロメーターの使い方 [実験] 細胞の大きさと成長 [実験] 酵素のはたらき 遺伝物質としてのDNAの特徴やメンデル遺伝について理解する。
2学期 9月 10月 11月 12月 2学期 予定時数 _____	2章 遺伝情報の分配 ・体細胞分裂 ・無性生殖と有性生殖 <b>【第3回定期考査】</b> ・減数分裂 3章 遺伝情報とタンパク質の合成 ・転写、翻訳  <b>【第4回定期考査】</b>	[実験] DNAの抽出 [実習] DNAの模型制作 [実験] 体細胞分裂の観察
3学期 1月 2・3月 3学期 予定時数 _____	メンデル遺伝 ・一遺伝子雑種 ・二遺伝子雑種 ・いろいろな遺伝 ・伴性遺伝 ・連鎖と組み換え  <b>【第5回定期考査】</b>	[実験] 唾腺染色体の観察



# 英 語

## Syllabus 年間学習計画



---

国 語

---

社 会

---

数 学

---

理 科

---

**英 語**

---

保健体育

---

音 楽

---

美 術

---

技術・家庭

---

## 1. 学習の目標

- ①英語の4技能「読む・書く・聴く・話す」を総合的に身につける。
- ②国際語としての英語を通じて、コミュニケーション能力の基礎を身につける。
- ③中学では日常的な事柄について英語で意思疎通ができるようになる。
- ④高校では時事問題・国際問題・その他のやや専門的な話題についても、4技能を駆使して、国際社会で英語を使って活躍できる高度な英語力を身につける。
- ⑤難関大学の入試に十分対応できる英語力を身につける。
- ⑥各学年の到達目標

以下のそれぞれの項目について理解し、さらに表現・説明をすることを目標とする。

<中1> ・身のまわりの人や物に関しての、現在・進行中・過去のできごと

・200～300語程度の会話文やエッセイへの内容理解と要旨説明

<中2> ・時間的關係や理由、目的、条件をふまえた過去、現在、未来のできごと

・ものの特徴の比較や違い

・400～500語程度の異文化や環境問題に関する文章への理解と意見の発信

<中3> ・過去に視点をおいた活動や状況

・様々なパターンを用いての物や人物に関する説明

・600～700語程度の社会、文化、科学などの分野に関する論説文やエッセイ、物語などへの内容理解と要旨説明

・関連トピックについて調べた内容のグループや個人での発表

## 2. 6力年の学習の内容

初めて英語を本格的に学習する中1では、音声面を大切に、英語の耳を育てる音声・発音指導から始まり、基礎を丁寧に学ぶことから取り組みます。

中1から中3の前半では中高一貫校用教材 New Treasure シリーズを、中3の後半からは高1用検定教科書 Landmark シリーズを使用して、文法、語彙、読解、作文の力を段階を追って伸ばします。表現力を養うためにスピーチ作成や発表も行います。英語らしい表現に日々触れながら会話力やリスニング力を向上させるため、NHK ラジオ講座『基礎英語』シリーズを聞きます。

吉祥では日々の学習の積み重ねを大切にしていますが、そうして培った英語力を校内の定期考査だけではなく外部試験でも証明するために、英語検定や中2から校内で受験する GTEC に関して、自分の具体的な目標を掲げ、また試験後は各自の結果の活用をするように奨励しています。

高校では中学で身につけた基礎力をもとに、「コミュニケーション英語」、「英語表



現」の授業において、さらに4技能をバランス良く向上させるための授業を展開します。中学3年間を通じて多くの教科での学習を通じて得た人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い知識や興味を生かし、専門的な文章を読み、意見を記し、発表し合っていくことを目標に学習します。高校2年生の後半からは本格的な入試問題対策も始まり、各自の目標とする進路達成のために高度な英語力を身につけます。

### 3. 学習の進め方

#### ① 授業

中1・中2は、週に「英語」を5時間と「英会話」を1時間、中3では「英語」を5時間と「英会話」を2時間の授業を行います。小テストも頻繁に行い、学習内容の定着を目指します。「英語」では4技能を関連づけて総合的に身につける学習を、「英会話」ではクラスを2分割した少人数授業で「聴く・話す」をより重視した学習をすすめます。中1・中2はネイティブ教師、中3は日本人教師とネイティブ教師が担当します。

#### ② 補習

中学では全学年で基礎力の定着をはかるため補習(無料)を行っています。定期考査の成績による指名制です。学期中は週に1回、学期末には1回の補習が行われます。

#### ③ 自宅学習

予習・復習を重視しています。予習を前提として授業は進められ、学力の定着に復習は不可欠となります。復習として中学では音読練習・書取練習・ワークブックや問題集によるドリル練習が課されます。確かな自宅学習の取り組みが必要となります。

#### ④ NHKラジオ講座

中学では「基礎英語1～3」を必須とし、テキストを教材として購入してもらいます。小テストや定期考査で確認テストをします。

#### ⑤ 辞書指導

中学のテキストには巻末に語彙リストがついており、中学入学時は、まだ辞書を購入する必要がありません。辞書指導は中1の2学期に授業内で行われます。意味のみならず、発音、品詞、用例など、様々な用途で辞書を使いこなすための基本を学びます。その頃に合わせて、高校まで使える紙の辞書を購入することをお勧めします。

〈その他の英語科での取り組みについて〉

### ① 英検・GTEC

英語の外部検定試験を積極的に受けましょう。

授業を通じて伸ばした英語力を外部の試験により証明することはとても大切です。吉祥では、全員が高校3年生に進級する前までに英検2級、あるいはそれ以上の級を取得することを目標にしています。各学年での目標は以下の通りです。

- ・ 4級（中学2年程度）：中1の3学期までに
- ・ 3級（中学卒業程度）：中2の3学期までに
- ・ 準2級（高校2年程度）：高1の3学期までに
- ・ 2級（高校卒業程度）：高2の3学期までに

校内では1月に英検3級（中1・中2対象）、英検2級（中3～高2対象）のそれぞれ一次試験を行います。9月には、中2から高1の全員が校内でGTECを受検します。英検やGTEC、TOEIC等の試験結果は大学試験の際にも自らの英語力の証明として今後益々重要になります。

### ② リーディング・マラソン

英語の読解力を高めるために図書館と連携して英語の本を積極的に読むことを勧めています。

図書館には英語の本が約2000冊あります。読んだページ数に応じて記録用紙にスタンプを押していきます。各到達目標は次の通りです。

クォーター：300 ページ      ハーフ：600 ページ      フル：1200 ページ

目標達成者には全員に Certificate（認定証）を発行します。

各学年の最多達成者には Reader of the Year Award（チャンピオン賞）も授与されます。

### ③ 国際交流

中3で、希望者対象のカナダ語学体験ツアーがあります。毎年ほぼ全員が参加します。姉妹校QMSを訪問し、交流活動を行い、ホームステイ体験をします。

### ④ その他

中学3年間で、「英語」・「英会話」において最も優秀な成果を修めた1名に、中学卒業式にてカナダの姉妹校より「QMS英語賞」が授与されます。

## 4. 学習計画（1）

教科	英語	科目	英語	週あたりの授業時数	※5時間	担当
使用教材	『New Treasure 2 (Second Edition)』 テキスト・CD・文法問題集（以上 Z会出版） 『Revised Landmark コミュニケーション英語Ⅰ』 テキスト・CD（以上 啓林館） 『総合英語 be (3rd Edition)』 参考書・テキスト・ワークブック（以上 いいずな書店） 『NHK 基礎英語3』（NHK出版）					

Reading（3時間）とGrammar（2時間）に分けて授業を行います。

Reading：読解を中心とする学習 Grammar：文法を中心とする学習

- ・各レッスン、Key Pointsの例文書き取りテストなどを行う。
- ・各レッスン終了後にレッスンテスト（リスニングを含む）を行う。
- ・基礎英語は授業の中で適宜確認テストを行う。
- ・授業で扱わないReadは長期休暇中の課題となる。

[Reading（3単位）]

時期	単元		単元の内容
1学期 4月	NT2 L8	Skating for Peace	・オリンピックと平和について考える
5月	L9	前置修飾と後置修飾 分詞の形容詞用法 How to Communicate without Words  カナダツアー「お伺い書」	・前置詞句や分詞を用いて表現された、人や物の特徴などを理解することができる ・非言語コミュニケーションについて考える  ・英文自己紹介の書き方を身に付ける
	【第1回定期考査】		
6月	英語劇など		クラス内発表会
	L10	関係代名詞〔主格・目的格〕 that が好まれる場合 否定疑問 A Jackal Met a Man for the First Time	・関係代名詞を用いて表現された、人や物の特徴などを理解することができる ・物語を読んで話の流れを理解する

7月 1学期 予定時数	L11	不定詞の発展的用法 The History of Glasses	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞を用いた様々な表現を理解できる</li> <li>物事の歴史や仕組みについて書かれた文章を読んで理解する</li> </ul>
	【第2回定期考査】		
2学期 9月	L12	比較表現 間接疑問 付加疑問 感嘆文	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な形の比較表現を理解することができる</li> <li>相手に確認したり、同意を求めたりする表現を理解できる</li> <li>驚き、喜び、悲しみなどの感情の高まりの表現を理解することができる</li> <li>アフリカ系アメリカ人に関する歴史を知る</li> </ul>
10月		A Change Comes to America	
	LM L1	What Can Blood Type Tell Us?  * 動名詞・不定詞 (復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>血液型による性格診断について読み、物事の背景にある理由を理解する</li> </ul>
【第3回定期考査】			
11月	L2	Curry Travels around the World  * 分詞の後置修飾 (復習) * 現在完了形 (復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>カレーの歴史と広がりについて読み、物事の歴史の流れを理解する</li> </ul>
12月	L3	School Uniforms  * 関係代名詞 〔主格・目的格〕 (復習) 〔所有格〕 * 間接疑問 (復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の学校制服の比較と制服に対する賛否について読み、物事に関する様々な意見を理解する</li> </ul>
2学期 予定時数	【第4回定期考査】		
3学期 1月	L4	Gorillas and Humans  * seem の用法 * 現在完了進行形	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴリラの生態と現状に関する山際教授へのインタビューを読み、絶滅しつつある動物とその原因について知る</li> </ul>
2月	L5	“gr8” or great?  * It - that …の形式主語 構文 * 知覚動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>メールにおける英語の新しい表現について読み、若者文化や言葉の変化を考える</li> </ul>

3月 3学期 予定時数	L6	Biodiesel Adventure  * 過去完了 * 使役動詞	・山田周生氏のバイオディーゼル燃料車での世界一周の活動について読み、環境保護の取り組みについて考える
	【第5回定期考査】		

[Grammar (2単位)]

時期	単 元		単 元 の 内 容
1 学期 4月	NT2 L9	前置修飾と後置修飾 分詞の形容詞用法	・人や物について、その特徴や様子を添えて表現 / 理解することができる
5月	L10	関係代名詞〔主格・目的格〕 that が好まれる場合	・主格および目的格の関係代名詞を用いて、人や物の特徴などを表現 / 理解することができる
【第1回定期考査】			
6月	L11	不定詞の発展的用法 It ~ (for -) to ... SVO + to ... 疑問詞 + to ... too ~ to ... ~ enough to ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の行動について、その重要性や難易度などを表現 / 理解することができる</li> <li>・他の人にしてほしいことなどについて表現 / 理解することができる</li> <li>・適切な方法、時、場所などについて尋ねることができる</li> <li>・目的を果たすのに程度が甚だしすぎる、または程度が十分である、という相関関係を表現 / 理解することができる</li> </ul>
7月	L12	比較の文の書き換え 倍数表現 間接疑問 付加疑問 感嘆文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のもののなかで程度が最高であることを、いろいろな形式で表現 / 理解することができる</li> <li>・ものの違いについて倍数を用いて表現 / 理解することができる</li> <li>・相手に確認したり、同意を求めたりすることができる</li> <li>・驚き、喜び、悲しみなどの感情の高まりを表現 / 理解することができる</li> </ul>
1 学期 予定時数	【第2回定期考査】		

2 学期 9 月  10 月  11 月  12 月  2 学期 予定時数 _____	be		
	L1	英語の語順(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 文型</li> <li>・ there + be 動詞、接続詞、群動詞</li> <li>・ 否定文、疑問文、命令文、感嘆文</li> <li>・ 現在形、現在進行形、過去形、過去進行形</li> <li>・ 未来の表現、when/if 節</li> <li>・ 完了結果用法、経験用法、継続用法</li> </ul>
	L2	英語の語順(2)	
	L3	文の種類	
	L4	時制(1)	
	L5	時制(2)	
L6	完了形(1)		
【第 3 回定期考査】			
	L7	完了形(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去完了形、大過去、未来完了</li> </ul>
	L8	助動詞(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ can、may</li> </ul>
	L9	助動詞(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ must、should、will</li> </ul>
	L10	助動詞(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 依頼や提案、used to、助動詞 + have + 過去分詞</li> </ul>
【第 4 回定期考査】			
3 学期 1 月  2 月  3 月  3 学期 予定時数 _____	L13	不定詞(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名詞用法、疑問詞 + 不定詞、否定語の位置</li> <li>・ 形容詞用法、副詞用法</li> <li>・ 原形不定詞、seem to 不定詞、不定詞の形</li> <li>・ 不定詞を使う表現、独立不定詞、代不定詞</li> <li>・ 主格用法、目的格用法、所有格用法</li> <li>・ 関係代名詞と前置詞、非限定用法</li> </ul>
	L14	不定詞(2)	
	L15	不定詞(3)	
	L16	不定詞(4)	
	L21	関係詞(1)	
	L22	関係詞(2)	
【第 5 回定期考査】			

## 4. 学習計画（2）

教 科	英 語	科 目	英会話	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材	オリジナルプリント 『NHK 基礎英語 3』NHK 出版					

※中3の英会話は日本人教師とネイティブ教師では別々の授業内容になる。

※「英会話」は実技科目でもある。「英会話」の授業では、授業中の発表やテスト、課題、期末試験として行うインタビューテストが評価の対象となる。

[日本人教師]

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	L1 “Nice to meet you.” L2 “What would you suggest doing?”	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介／あいさつ</li> <li>自分のことやカナダでやりたいことを話す (ホストファミリーとコミュニケーションをとる。 またカナダでのおすすめを尋ねる)</li> </ul>
5 月	L3 “I really like this room.” L4 “Would you like some more salad?”	<ul style="list-style-type: none"> <li>家に招かれたときの表現と常識</li> <li>食事で使う表現およびマナー</li> </ul>
	L5 “I hope you like it.”	<ul style="list-style-type: none"> <li>お土産を渡す／頂くときの表現 (お土産の説明など)</li> </ul>
6 月	L6 “Is there anything I can do for you?”	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的にお手伝いをする</li> <li>道具の使い方を尋ねる</li> </ul>
		Oral test (口頭試験)
7 月 1 学期 予定時数	Learning English Expressions in Use	<ul style="list-style-type: none"> <li>映画に出てくる英語表現の聞き取りと理解</li> </ul>
2 学期 9 月	L7 “I’m just looking, thank you.” L8 “I need to ask you a favor.”	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物で使える表現</li> <li>頼みごと、待ち合わせ、送迎に必要な表現</li> </ul>
10 月	L9 “I wish I could stay longer.” L10 “What’s the matter?”	<ul style="list-style-type: none"> <li>お別れの際に使われる表現</li> <li>病気のときに使う表現 (単語：症状やけが)</li> </ul>
	Conversation Keepers & Killers	英語表現《発展》
	…… CANADA TOUR ……	カナダ語学体験ツアー

11月	L11 Thank You E-mail L12 Show and Tell (Canada)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お礼状に必要な表現</li> <li>・カナダでの体験を「物」を見せながら語る</li> </ul>
12月 2学期 予定時数	【共通】 Comparing Cultures	英語表現から学ぶ異文化への理解
3学期 1月	L13 My Tour	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京」を英語で説明する</li> <li>・東京ツアー企画・発表</li> <li>・日本の魅力について語る</li> </ul>
2月	L14 My Dialog (Problems and Advice)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間を通じて学んだ表現で自作のスキットを作り表現豊かに発表する</li> </ul>
3月 3学期 予定時数	【共通】 Wrap-up	まとめ

[ネイティブ教師]

時期		単 元	C a n - D o
1学期		Orientation	
4月	NT2 L9	<b>Modify People/Things</b> ・The girl waving her hand is my sister. ・Do you have anything made in Japan?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴を挙げて特定の人や物について表現 / 理解することができる</li> </ul>
5月	L10	<b>Introduce Japanese Culture</b> ・Kendo is Japanese fencing ( <b>that</b> ) uses wooden swords. ・Kimono is traditional clothing ( <b>that</b> ) we wear on formal occasions.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化やそれに関わる物について表現 / 理解することができる</li> </ul>
6月	L11	<b>Talk about Our School</b> ・The school doesn't <b>allow</b> us <b>to</b> eat during class. ・The teachers <b>want</b> us <b>to</b> be autonomous learners. ・The teachers <b>tell</b> us <b>to</b> be as polite to strangers as to our senior teammates.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に対する指示、依頼、希望、許可 / 不許可などの内容について表現 / 理解することができる</li> </ul>



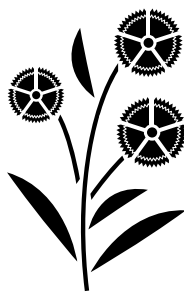
7月  1学期 予定時数 _____	L12	<b>Teach/Learn How to Make Something</b> ・Could you show me <b>how to</b> cook Poutine? ・Do you know <b>what</b> the ingredients of miso soup are?	・料理などの「作り方」について表現/理解することができる
		Review & Test	
2学期 9月  10月	LMI L1	<b>Express Myself</b> ・I like <b>to play</b> sports. ・I'm <b>interested in</b> <u>studying abroad</u> . ・I'd like <b>to eat</b> <u>something very Canadian</u> .	・自己紹介で好きなことや興味のあること、やりたいことなどを表現/理解することができる ・別れ際、感想や感謝の意等を表現/理解することができる
	L2	<b>Talk about Experiences</b> ・I <b>have never been</b> to Niagara Falls. ・ <b>Have you ever</b> <u>tried Japanese tempura</u> ? ・Tempura is <u>vegetables and seafood dipped in batter and deep-fried</u> . ・・・・CANADA TOUR・・・	・自らの経験を表現したり、相手の経験を理解/尋ねたりすることができる ・物や人物の説明を表現/理解することができる
11月	L3	<b>Talk about Uniforms (For or Against)</b> ・I am <b>for</b> school uniforms, <b>because</b> we don't have to worry about what to wear.	・自分の意見(賛成または反対)を理由を添えて表現/理解することができる
12月  2学期 予定時数 _____	L4	<b>Talk about Endangered Animals (Cause and Effect)</b> ・Gorillas, which live in forests in Africa, are becoming extinct. <b>One reason is that</b> people have been destroying the forests where gorillas live to collect rare metals.	・テーマに関する具体的事実とともに原因を調べて簡潔にまとめ、発表することができる
		Review & Test	
3学期 1月	L5	<b>Talk about Contemporary Japanese</b> ・A popular shortened Japanese word "KY" <b>stands for</b> the phrase "Kuuki ga yomenai," which <b>means</b> being unable to read the situation.	・テーマに関する的確な例を挙げ、意味などその内容を表現/理解することができる

2月	L6	<b>Talk about Eco-Activities at School</b> ・We collect empty cases from disposable contact lenses at school, which are to be recycled.	・日常生活における活動について、テーマに沿って表現/理解することができる
	L7	<b>Talk about World Heritage Sites in Japan</b> ・I've often visited Kyoto, but I've never been to Kinkakuji Temple, which is called "Temple of the Golden Pavilion." I'd like to visit this very popular World Heritage Site sometime soon.	・自分の経験と結びつけながら、テーマについて場所や特徴などの情報を簡潔に表現/理解することができる
3月		Review & Test	
3学期 予定時数 _____			

# 保健体育

## Syllabus

### 年間学習計画



---

国語

---

社会

---

数学

---

理科

---

英語

**保健体育**

---

音楽

---

美術

---

技術・家庭

---

## 1. 学習の目標

### 〈保健〉

自立した女性を目指すためには自分のことをよく知らなければなりません。保健ではこころとからだの正確な知識を身につけることに主眼を置いています。自分のこころとからだを見つめることができれば、こころの健康や体調面をコントロールすることができると思っています。

### 〈体育〉

社会に貢献するためには積極性と協調性が必要です。また良好なライフワークバランスが求められる現代、余暇を充実させるためにスポーツの役割はこれまで以上に大切になってきています。体育ではスポーツに自ら積極的に取り組むことにより、楽しみながら基礎体力を養い、他者と協力していく力を養います。このため各種目は生涯スポーツを見据えたものになっています。

## 2. 学習の内容

### 〈保健〉

中3では「けがや病気の予防」及び「喫煙や薬物の影響」について学習します。中1・中3とも「性」に関わる分野が含まれますが、科学的にアプローチすることにより正確な知識が身につきます。

### 〈体育〉

	1学期	2学期	3学期
1年次	吉祥体操・基礎運動・水泳	水泳・ネットボール	卓球
2年次	マット運動・ダンス・水泳	フットサル・ダンス・水泳	タグラグビー・剣道
3年次	バスケットボール・水泳	バドミントン・水泳	バレーボール

## 3. 学習の進め方

### 〈保健〉

- ・各分野とも本校独自のプリントによる学習が中心
- ・実習や実験を多数導入
- ・グループ学習、討論

### 〈体育〉

- ・6月上旬から9月中旬まで水泳を実施します。基礎的な泳法を中心に練習し、各自の泳力に合わせて検定を行います。
- ・1学期末は球技大会の練習、2学期の始めは運動会の練習を水泳と並行して行います。

## 4. 学習計画（1）

教科	保健体育	分野	保健	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	『新・中学保健体育』大修館書店・「最新高等保健体育」大修館オリジナルプリント					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	オリエンテーション からだの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の成り立ちと取り組み</li> <li>心肺機能とその働き</li> </ul>
5月	応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急手当の意義と必要性</li> <li>心肺蘇生法の手順 (心肺蘇生法実習)</li> <li>骨折、脱臼、捻挫の応急手当</li> <li>その他の応急手当 (包帯法・運搬法実習)</li> </ul>
6月		
7月 1学期 予定時数		
2学期 9月	運動会の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種目の練習</li> </ul>
10月	生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病の現状と理解</li> <li>生活習慣病の原因と予防</li> </ul>
11月	感染症とその予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方と成り立ち</li> <li>病気の現状とその予防</li> <li>感染症の原因とその予防</li> <li>免疫の仕組み</li> <li>エイズの特徴</li> <li>感染経路と予防</li> </ul>
2学期 予定時数	性感染症 エイズ（AIDS）とその予防	
3学期 1月	喫煙・飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙の健康被害及び周囲への影響</li> <li>アルコールの作用と依存症 (アルコールパッチテスト)</li> </ul>
2月		
3月 3学期 予定時数	医薬品・薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品の安全性</li> <li>薬物乱用と健康影響</li> </ul>

## 4. 学習計画（2）

教 科	保健体育	分 野	体 育	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材						

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	オリエンテーション ネットボール バスケットボール 水泳 球技大会練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容の説明</li> <li>・ 集団行動</li> <li>・ パスゲーム</li> <li>・ パス、シュート</li> <li>・ ミニゲーム</li> <li>・ 班対抗ゲーム</li> <li>・ クロール・平泳ぎ・背泳ぎ</li> <li>・ ドッジボール・バスケットボール</li> <li>・ 卓球</li> </ul>
2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月 2 学期 予定時数 _____	水泳 運動会練習 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クロール・平泳ぎ・背泳ぎ</li> <li>・ 各種目練習</li> <li>・ 各種ショット</li> <li>・ 簡易ゲーム</li> <li>・ 班対抗ゲーム</li> </ul>
3 学期 1 月 2 月 3 月 3 学期 予定時数 _____	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種パス</li> <li>・ サーブ</li> <li>・ 簡易ゲーム</li> <li>・ 班対抗ゲーム</li> </ul>

# 音 楽

## Syllabus

### 年間学習計画



---

国 語

---

社 会

---

数 学

---

理 科

---

英 語

---

保健体育

---

**音 楽**

---

美 術

---

技術・家庭

---

## 1. 学習の目標

- ①音楽活動に、自らの心を開いて主体的に取り組むことによって、豊かな情操を養う。
- ②音楽に対する愛好心や、素晴らしいものに触れたとき、素直に感動できる豊かな感性を身につける。
- ③合唱および合奏など、集団で音楽を作り上げていく体験を通して、一個人としての自分、また集団の中における自分の役割を自覚し、より豊かなハーモニーづくりに貢献する姿勢を学び、社会性を身につける。

## 2. 学習の内容

各分野において、中1では基本をしっかりと学び、学年が上がるごと、より専門的な内容へと発展させていきます。

## 3. 学習の進め方

### ① 授業

[歌唱] 中1は基本的な発声を学び、校歌をはじめとする日本語の歌を取り上げ歌います。中2は1人ひとりの変声を考慮しつつ、日本の代表的な歌曲を取り上げ、詩の解釈や曲の情景を考えて歌うようにします。中3は身体の成長に伴って、本格的な声が出るようになるので、イタリア歌曲を中心に歌い、声楽の世界を体感します。

[鑑賞] 中1は音楽史に沿って各時代の名曲を取り上げ、音楽の構造や、時代背景・風土・文化・歴史を理解し、より身近に音楽を感じる愛好心を身につけます。中2・中3は器楽および歌唱で扱っている曲を、より明確に理解できる鑑賞内容を取り上げます。中1では邦楽の演奏家を招き、息遣いの感じられる距離で、生の演奏を聴くことで、音楽をより身近に体感します。

[器楽] 中1はヴァイオリンを扱い、初心者を対象とした授業です。楽器に触れることから始め、扱い方、楽器の構造、歴史的背景など、弾くだけでなく総合的に楽器について学びます。中2は基本奏法の定着を図るとともに、ヴィオラやチェロを導入して弦楽合奏につなげます。

### ② 補習

希望者のみ。実技試験1ヵ月前から、第2音楽室を昼休みに開放します。

### ◆ 進路にむけて ◆

音楽大学などを志望する生徒は、高校2年から音楽に比重を置いた科目選択ができ、各実技分野の専門家から直接指導を受け、専門性を高めて行くことができます。



## 4. 学習計画

教科	音楽	科目	歌唱・鑑賞	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	『イタリア古典声楽曲集』教育芸術社					

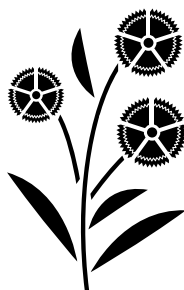
時期	単元	単元の内容
1学期 4月	オリエンテーション（クラス全員） 「わが愛の譜」滝廉太郎物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の説明</li> <li>・正しい発声について基本事項の確認</li> </ul>
5月	イタリア古典声楽曲集より 「Nina」 「Sebben, crudele」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の意味を調べ、表現を工夫する。</li> <li>・正しい発声・発音を心がける。</li> </ul>
6月	「Nel cor più non mi sento」 「Sento nel core」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徐々に難度を上げていく。</li> <li>・自分に合う1曲を見つける。</li> </ul>
7月 1学期 予定時数 _____	【実技試験】	・授業で取り上げた曲から1曲暗譜で歌う。
2学期 9月	「Lascia ch'io pianga」 「Ombra mai fu (Largo)」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の意味を調べ、表現を工夫する。</li> <li>・正しい発声・発音を心がける。</li> </ul>
10月	「Lasciatemi morire」 「Se tu m'ami」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の意味を調べ、表現を工夫する。</li> <li>・正しい発声・発音を心がける。</li> </ul>
11月	イタリア古典声楽曲の総復習	・既習範囲全てを歌いこむ。
12月 2学期 予定時数 _____	【実技試験】	・授業で取り上げた曲から1曲暗譜で歌う。
3学期 1月	合唱コンクールの練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題曲を決める。</li> <li>・パートリーダー・指揮者・伴奏者を決める。</li> <li>・音を取る。</li> </ul>
2月	合唱コンクールの練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の仕上げ</li> <li>・ステージマナーを学ぶ。</li> </ul>
3月	【実技試験】	・合唱コンクール課題曲を女声3部で歌う。
3学期 予定時数 _____	弦楽四重奏	・プロの演奏家を招き、生演奏を聴く。



# 美術

## Syllabus

### 年間学習計画



---

国語

---

社会

---

数学

---

理科

---

英語

---

保健体育

---

音楽

---

**美術**

---

技術・家庭

---

## 1. 学習の目標

- ①人物や風景などの対象物をよく観察して正確に描く能力や、イメージしたものを平面や立体作品として完成させる表現能力を培う。
- ②アイデアを膨らませて、ひとつの形へとまとめ完成させる、デザインの能力を培う。
- ③創意と工夫によって日常で使用できる工芸作品を、自らの手で造形する能力を培う。
- ④美術やデザイン作品に興味をもち、それらを尊重し大切にする精神と鑑賞力を養う。

## 2. 学習の内容

中学の美術では、様々な分野に亘って基礎的な学習を行いますが、吉祥オリジナルな教材を扱うため、年度により扱う内容に変化があります。従って、このシラバスに取り上げている内容も参考の一例と考えて下さい。

実際の内容は年度最初の授業時に「年間カリキュラム」が配布され、担当教員より詳しい解説があります。この数年間で取り上げた内容を参考に記すと、中1では「詩を絵にする」「創作熟語による文字デザイン」「木彫手鏡」「モザイク」「自画像と私の生活」「自然の贈り物細密画」「ユーモアパッケージのイラストレーション」。中2では「陶芸 花器」「陶芸 好きな器」「動物の塑像」「理想のお弁当塑像」「創作切手細密画」「メタモルフォーゼによる自画像」「立体慣用句人間」。中3では「絵本」「四面絵画」「蔵書票」「多色版画」「版画カナダツアーの思い出」「版画中学校生活の思い出」などがあります。

## 3. 学習の進め方

### ① 授業

授業ごとにカリキュラムの内容に関わる資料と制作日程のプリントを配布し、制作の目標を明確にして授業を展開します。また生徒一人一人に細かなアドバイスをを行いながら全体的にレベルアップしていきます。

### ② 補習

欠席などで制作が遅れ気味な生徒への指導は、放課後を利用して積極的に行います。

### ③ 鑑賞

校内展示を随時行うとともに、展覧会や展示会の紹介を通じて、作品を鑑賞する力を身につけます。

### ◆ 進路にむけて ◆

美術大学などを志望する生徒は、高校2年から美術に比重を置いた科目選択ができ、各実技分野の専門家から直接指導を受け、専門性を高めて行くことができます。

## 4. 学習計画

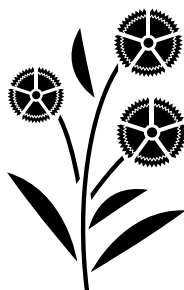
教科	美術	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	『美術 2・3 下』光村図書			

時期	単元	単元の内容
1学期 4月 5月 6月 7月 1学期 予定時数 _____	絵画と応用1（段ボールレリーフなど） ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作① (3) 制作② (4) 制作③	・年間カリキュラムの説明 ・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）
2学期 9月 10月 11月 12月 2学期 予定時数 _____	絵画と応用2（リメイク絵画など） ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作① (3) 制作② (4) 制作③	・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）
3学期 1月 2月 3学期 予定時数 _____	立体（オリジナルマトリョーシカなど） (1) オリエンテーション (2) 制作	・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）



# 技術・家庭

## Syllabus 年間学習計画



---

国語

---

社会

---

数学

---

理科

---

英語

---

保健体育

---

音楽

---

美術

---

技術・家庭

## 1. 学習の目標

衣食住などに関して、実習を中心に学習内容を定着させ、日常生活で実践できる力を養う。また、消費生活に関する契約トラブルや、環境問題への自分自身の取り組みを話し合うなど、身近な問題として考える。

## 2. 学習の内容

### 〈中1〉

1・3学期は家庭分野、2学期は技術分野を学習します。1学期は、食生活について学習し、自分の食習慣を見直し、中学生に必要な食の知識を身につけ、調理実習も行います。2・3学期は、ものづくりを通して、生活と技術の関わりについて考えます。2学期は木材の性質や種類について学び、さらに木製品を製作し、生活に役立てます。3学期は身近な手芸を衣文化の観点から見直し、かぎ針編みの基本技術を習得し、作品製作を行います。

### 〈中2〉

被服製作実習、調理実習を通して、衣・食に関する基本技術の習得を目指します。また、健康で安全な生活をするために、1年次に学習した内容を発展させ、基本的な衣・食の知識を身につけます。

### 〈中3〉

衣・食について1・2年次に学習した内容を発展させ、生活に関わる問題について学習し、知識を深めます。また、消費者の視点で環境問題をとらえ、消費者として何ができるか考え実践します。

## 3. 学習の進め方

### ① 授業

講義や実習などを通じて、知識と技術を身につけます。新聞記事やテレビのニュースなどを必要に応じて取り上げ、身近な問題として学習する機会を設けます。

### ② 補習

編み物実習、木材加工実習、被服実習で作業が遅れている生徒を対象に放課後、補習を実施します。



## 4. 学習計画

教 科	技術・家庭	週あたりの授業時数	1 時間	担当
使用教材	「技術・家庭」家庭分野 開隆堂			

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	衣生活 1. 衣服のはたらき 2. 衣服の構成 3. 衣服の素材と手入れ 4. 衣服の洗濯  【第 2 回定期考査】	衣服のはたらきを理解し、布地の種類や性質、特徴を知り、目的に合った服装を選び着用できるようにする。 既製の構成を理解し、手入れや洗濯の方法を学び、衣服の購入、管理に役立てる。
2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月 2 学期 予定時数 _____	住生活 1. 住まいの役割 2. 住まいと自然条件 3. 家庭生活と住まい 4. 法律と住まい 5. 健康で快適な住まいの条件 6. 住まいの安全対策  【第 4 回定期考査】	住まいの役割を見直し、外国と日本の住まいの違いや気候風土との関係を理解する。 住まいに関する法律を学び、住生活に必要な条件や、環境との関わりを考える。 室内環境と安全対策について学び、快適で安全な住まい方を目指す。
3 学期 1 月 2 月 3 月  3 学期 予定時数 _____	消費生活と環境 1. 食生活と環境とのかかわり 2. 環境に配慮した衣生活 3. 身近な消費生活と環境 ・自ら取り組むエコ生活 ・地域や社会での協力 ・持続可能な社会  【第 5 回定期考査】	日常生活が環境に与える負荷を、消費者の視点で考え、ごみの排出や資源（電気、ガス、水道）の利用が、環境へどのような影響を与えているか考える。エネルギー消費や CO <sub>2</sub> 排出による地球温暖化の影響について知り、5R や容器包装リサイクル法などの資源をむだにしないための取り組みを知り、生活に役立てる。環境や資源に配慮する観点で生活を見直し、資源の有効利用を考え、実践し、循環型社会の実現を目指す。



(参考)

## (2020年度入学生高等学校教育課程表)

教科	学年 科目	1年			2年			3年			自由 選択
		共 通	文 系	芸 術 系	理 系	文 系		芸 術 系	理 系		
						国公立	私立				
国 語	国語総合	5									
	現代文B		3	3	2	3	4	3	2	②	
	古典B		3	3	2	3	4	3	2	②	
地 歴	国語演習										
	世界史A	2									
	世界史概説		※②								
	世界史B		③			⑤	⑤			④	
	日本史A		②								
	日本史B		③			⑤	⑤			④	
	地理A		②	2	2					②	
	地理B									④	
公民	倫理		2	2	2					②	
	政治・経済	2								②	
数 学	数学Ⅰ	3									
	数学Ⅱ		3		4						
	数学Ⅲ								④	②	
	数学A	3									
	数学B		3		2						
	数学Ⅱ演習					③			④		
	共通テスト数学Ⅱ					③					
	数学B演習					③			③		
共通テスト数学B					③						
理 科	数学演習								③		
	物理基礎	2									
	物理				③				④		
	化学基礎	2	1								
	化学基礎演習					1					
	化学				4				4		
保 体	生物基礎	2	1								
	生物基礎演習					1					
	生物				③				④		
芸 術	体育	2	2	2	2	3	3	3	3		
	保健	2									
	音楽Ⅰ	②									
	美術Ⅰ	②									
	音楽Ⅱ			④							
	美術Ⅱ			④							
	音楽Ⅲ							④			
	美術Ⅲ							④			
音楽専門			⑦				⑦				
美術専門			⑥				⑥				
外 国 語	美術・デザイン史			①				①			
	ソルフェージュ									②	
	美術									④	
	コミュニケーション英語Ⅰ	4									
	コミュニケーション英語Ⅱ		4	4	4						
家 庭 情 報	コミュニケーション英語Ⅲ					4	4	4	4	②	
	英語表現Ⅰ	2									
	英語表現Ⅱ		2	2	2	3	3	3	3		
	私文総合英語演習						3				
家庭基礎		2	2	2							
社会と情報		2	2	2							
総合的な探究の時間	1	1	1	1	1	1	1	1			
合計	34	34	34	34	30	30	28	30	0～6		
特別活動	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			

※2・3年次文系生徒の地歴選択世界史・日本史・地理のうち2科目履修します。2年次に3単位履修した科目を3年次に国公立文系では5単位、私立文系では8単位(5+3)履修します。2年次に2単位履修したA科目は、必要に応じ、3年次に同一B科目を自由選択科目(4単位)で履修します。

\*教育課程表の数字は、各科目の単位数をあらわしています。例えば1年次の国語総合の5は5単位のことで、1週あたり5時間の授業があり、1年間履修して認定されれば5単位修得したことになります。本校を卒業するためには、88単位以上修得する必要があります。

\*○印は選択科目です。

\*教育課程は変更することがあります。

\*「総合的な探究の時間」は年間を通して週1時間相当の時数分を行います。

# 年間学習計画

## 2020 Syllabus



吉祥女子中学・高等学校

〒180-0002

東京都武蔵野市吉祥寺東町 4-12-20

☎ 0422(22)8117

中学 3 年 組 番 氏 名

---